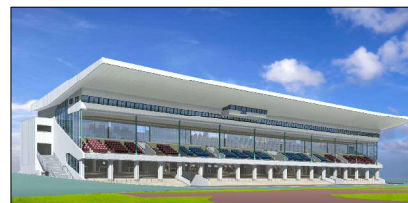


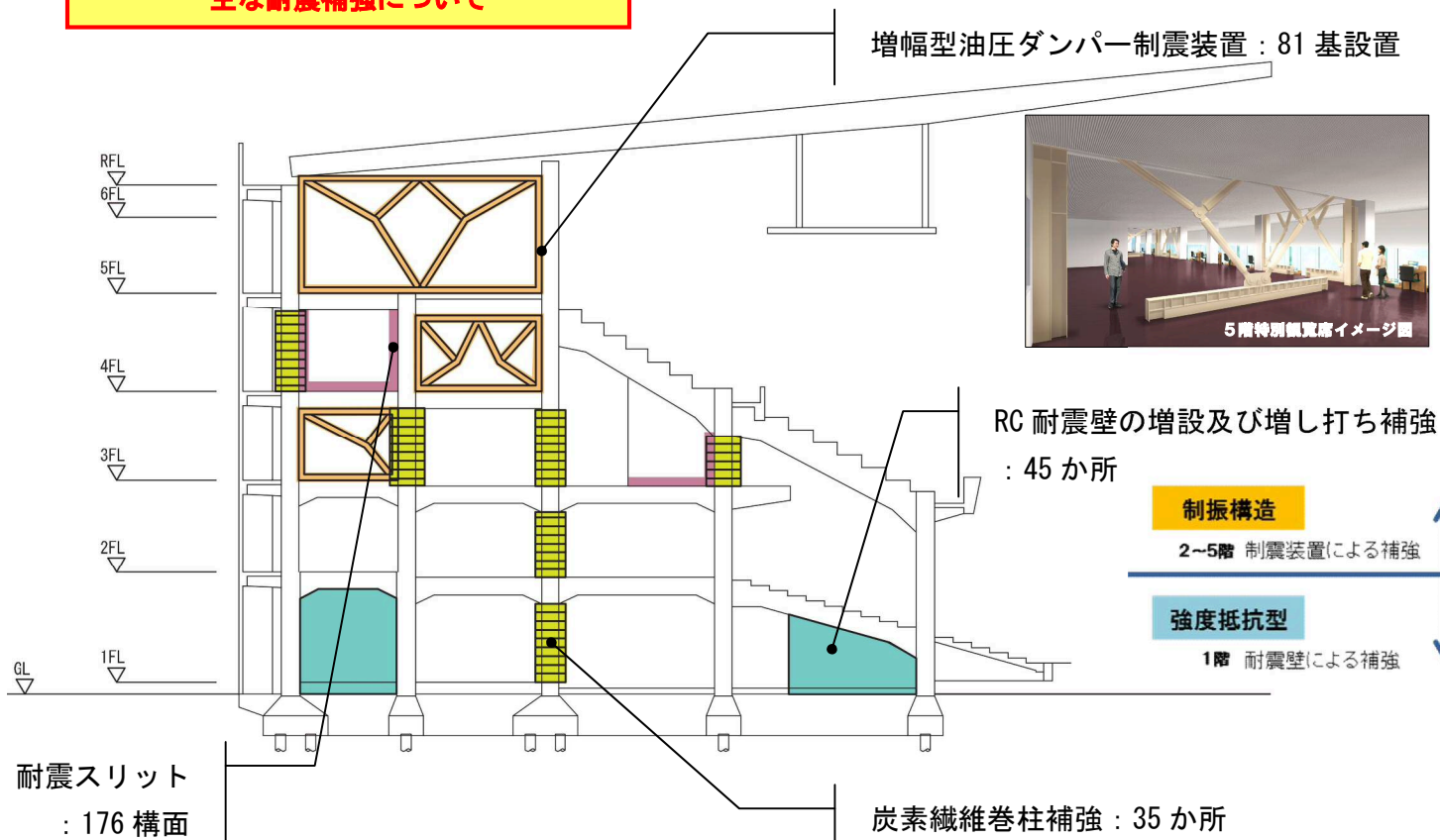
工事概要及び事業スケジュール

工事名	川崎競輪場メインスタンド耐震補強その他工事	工事場所	川崎市川崎区富士見2丁目1番6号
請負者	吉忠・大場・邦松共同企業体	工期	平成26年3月28日～平成28年2月29日
構造・規模	鉄筋コンクリート造一部鉄骨造 地上6階建て	建築面積	3,850.00㎡
延べ面積	12,847.36㎡	建築物の高さ	24.50m

当初契約金額	1,171,800,000円
現在契約金額	1,251,776,160円 (増79,976,160円)
変更契約金額	1,553,383,440円 (増301,607,280円)
事業スケジュール	本工事は平成28年2月末までに完了予定

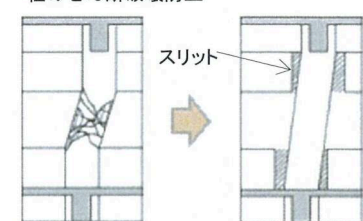


主な耐震補強について



<柱・梁の変形能力を確保するための耐震スリットについて>

柱のせん断破壊防止



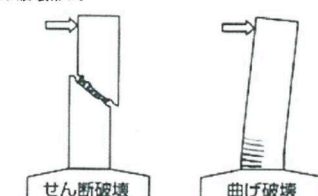
スリットを設け、柱の柔軟性を高めて変形能力を確保



耐震スリット施工

<柱の粘り強さを向上させるための炭素繊維巻柱補強について>

柱の破壊形式



脆い壊れ方(良くない) 良い壊れ方



炭素繊維巻柱補強

変更の内容について

【増額 約3億1百万円の内訳】

1 設計変更分の内訳

約2億8千7百万円

(1)配線・配管類の切回し等の増加

約2千9百万円 (電気設備)

約2千7百万円 (機械設備)

天井内埋設配線・配管調査時



(設計時) 目視可能な限りの調査を行ったが、部分的な調査では、配線・配管類が使われているかどうかの判別は困難

天井内埋設配線・配管撤去時

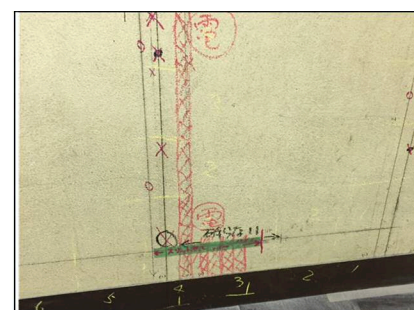


(工事中) 建築物が古く改修を重ねていることから、竣工当時から配線・配管類が煩雑に残る

(2)一部耐震工法(構造スリット等)の変更

約1億2千8百万円

耐震スリット施工前調査時



埋設配管を避けてスリットを施工するために、内装材や家具類を撤去したうえで、実施したレントゲン探査費用が増加

耐震スリット施工時



電子機器への影響を考慮し、より水の使用量が少ない新しい認定工法(AWAT工法)に変更

(3)隠ぺい部のアスベスト撤去の工法及び範囲の変更等

約3千4百万円

アスベスト撤去前



既存図面がない天井裏の吹きこぼれや、配線・配管類に影響を与えないよう配慮したため、工区・養生範囲が拡大し、足場や養生材等が増加

アスベスト撤去後



(4)その他

約4千8百万円 (共通費)

約2千1百万円 (消費税)

2 平成27年2月のインフレスライド分

約1千4百万円

(消費税込み)